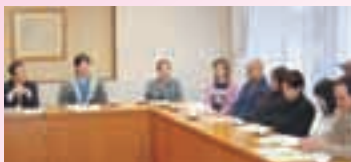




■ 在住外国人市民懇談会

平成 17 年に市内で生活するブラジル国籍者 14 人とペルー国籍者 3 人の計 17 人により組織されました。年間に 5 回の協議を重ね、情報の伝達方法や防災、教育についてなど 5 項目にわたる提案をまとめ、市長へ提出をしました。平成 18 年には、この提案に対する市の考え方を回答として示しながら、意見交換を行ないました。



■ 共生に取り組む人たち

市民の 14 人に 1 人がブラジル人。今後も増加が見込まれ、また、定住化傾向も見られます。

美濃加茂を第 2 のふるさとにしようと、地域に溶け込もうとするブラジルの人たちがいます。日本人の中にもこの現実を踏まえ、ブラジルの人たちを受け入れようと努力している人たちがいます。

このような活動の中から、真の『多文化共生』が生まれるのではないのでしょうか。

まずは興味を持つことから始めてみませんか？

■ MINOKAMO 日本語会話パートナーズ

美濃加茂市内外に在住の外国籍の人たちが、日本語を通して、日本の文化や生活習慣を学んで、できるだけ早く日本の生活になじむことができるように支援することを目的として活動しています。

先生と生徒という関係ではなく、あくまでも友達同士（会話パートナー）のお付き合いですので、外国籍の人から言葉を教わったり、写真やお菓子などで母国のことを紹介してもらったりすることもあります。

今までには、ブラジル人、フィリピン人、ペルー人、ベトナム人など多くの国の人たちとかわって来ました。皆さんとても勉強熱心で一生懸命なので、毎回学習内容を考えるのが大変ですが、楽しく学ぶことをモットーに工夫しながら取り組んでいます。



◀ 代表の長谷川壮重さん

■ ブラジル友の会

日本の学校に通う外国籍児童生徒を支援するボランティア団体で、5 年前に発足しました。外国籍児童生徒をとりまくさまざまな問題の原因を調査・分析し、行政機関や周りの人たちに支えていただきながら、解決につながるよう、放課後学習支援やポルトガル語教室などの事業を実施し、子どもたちが自分の目標を達成できるように支援をしています。



中でも、今年で 5 年目になる学用品のリサイクルはとても好評です。多くの人に協力いただき、特に学用品を寄付していただいた人たちには深く感謝をしてお礼を申し上げたいと思います。おかげさまでたくさんの人に喜ばれており、学用品を手に入れた人からは「日本へ来てまだ間もないので、とても助かりました」という声を聞いています。



◀ 会長の金城エジウソンさん